よい子 つよい子 できる子

新井小学校たより５月号　　令和３年５月２７日

ＨＰアドレス　http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/arai-s/

努力は必ず報われるんだな

校　長　　江口　克也

５月１３日（木），今年度最初の学校運営協議会を開催しました。新井小学校は，コミュニティ・スクールとなり５年目を迎え，いよいよ発展・充実期へと入ります。今まで以上に皆様の声をお届けいただきたいと思います。存在感のある地域の学校を目指します。

標題の言葉は，競泳の池江璃花子選手が今年の日本選手権において，100㍍バタフライで，東京オリンピック 400㍍メドレーリレーの 選考基準を満たした際のインタビューで語った言葉です。

> 自分が勝てるのは，ずっと先のことだと思っていた。すごくつらくてしんどくても，努力は必ず報われるんだなと思った。今すごく幸せ。

ご存知のように，個人種目・リレー種目合わせて 16 もの日本記録を保持し，東京オリンピックでの活躍が期待されていた池江選手は，2019 年２月に白血病であることを公表し，長期療養生活に入りました。その後，初めてプールに入ったのが昨年３月。まだ，水に顔をつけることが許されない状況からのリスタートでした。復帰レースは，昨年８月の 50㍍自由形。自らの日本記録に２秒以上遅れての５位でした。その後も努力を重ね，2024 年のパリオリンピックでのメダル獲得を目指した日々の積み重ねが，早くも結果として現れました。悲劇のヒロインとしてではなく，強いアスリートとして，見事に自身の存在を示してくれました。

絶好調であった状態からの突然の発病，そして復帰まで，私たちは報道等でしか伺い知ることはできませんが，想像を絶する困難を乗り越えてきたことは，容易に想像できます。強い気持ちで目標を掲げ，努力を続け，結果を出した池江選手の涙と笑顔は，私たちに勇気と希望を与えてくれました。

池江選手を見習って・・・とは，なかなかいきませんが，目標に向かって努力し続けることの大切さ・価値を改めて胸に刻むとともに，子どもたちに伝えていきたいと強く思いました。なかなか目標に届かず，くじけそうになった時，「まだ努力が足りない」と思えるような強い子どもを育みたいと思います。

＜校長室から＞②

毎朝，１時間目に各教室を巡っています。どんどん音読が上手になる１年生。野菜の栽培を始めた２年生。割り算に挑戦する３年生。説明文を読み解く４年生。和語・漢語を学ぶ５年生。いよいよ歴史分野に入った６年生。着実な学びをうれしく思っています。

令和3年度わかたけ記録会 できることを全力でやりました！

コロナ禍の中でのわかたけ記録会！子どもたちの一生懸命に走る姿はとても光り輝いていました。派手な応援はできませんでしたが、競技している人たちを精一杯の拍手で応援する姿もあり、素晴らしい光景でした。たくさんの保護者の皆様からお出でいただき励みになったことと思います。また、保護者ボランティア、実習生の皆さんからもお手伝いをしていただき、わかたけ記録会の運営がスムーズにいきました。ありがとうございました。閉会式では、「自己ベストが出て良かったです。これは、ぼくだけの力ではなくみんなでがんばったからだと思います。」とチーム全体の頑張りをたたえた感想発表もありました。

第１回学校運営協議会を行いました

５月１３日（木）に、第１回の学校運営協議会を行いました。新井小学校の様子を知っていただこうと、授業を参観していただきました。

その後、コロナ禍での新しい教育の在り方やありのままの子どもの姿を基に、子どもを育てることについて意見交流が行われました。改めて、学校と地域が力を合わせ、子どもたちの成長を支えていこうと確認し合いました。

また、委員の皆様からは、今年度の学校経営方針等について承認していただきました。今後も、子どもや教職員、保護者、地域にとって魅力あるコミュニティ・スクールとなるように取り組んでいきます。

〈学校運営協議会　委員〉

№	氏名（敬称略）	所属等	新任	備考
1	佐藤　茂	姫川原地区コミュニティ運営協議会　会長		会長
2	白瀬　市雄	斐太南部地区協議会　副会長		副会長
3	新井　時男	H29～R 元年学校運営協議会　会長		
4	宮越 富士夫	白山町町内会　会長	○	
5	小島　定司	矢代地域づくり協議会 事務局長	○	
6	丸山　瑞穂	斐太南保育園　園長		
7	平田　篤	民生児童委員	○	
8	宮腰トク子	地域人材コーディネーター		
9	佐藤　賢治	上越教育大学　特任教授		
10	横尾　敏彦	PTA 会長		
11	西山　宏	PTA 副会長	○	事務局長
12	田篠　貴弘	PTA 副会長	○	
13	江口　克也	校長	○	
14	保坂　国馨	主幹教諭	○	事務局次長

ＰＴＡ活動が変わりました

今年度から新井小学校のＰＴＡ活動が変わりました。「保護者が　主体的にできることを　できる時に」を合い言葉に、ボランティア活動主体に切り替えました。平日昼間に参加しやすい人、土曜日に参加しやすい人、それぞれが、自分の得意なこと・興味あること・協力できることを選んで参加します。

今年度は、以下のようなボランティアを募集しました。

ＰＴＡだより作り（デジタル版）
スキーボランティア
運動会・陸上大会役員
吹奏楽楽器基礎技術指導
図書館ボランティア
ガラス拭き（土曜１回、平日１回）
グラウンド雪ならし・コース付け
児童用タブレット端末の管理
イベント時の座席消毒・片付け等
学年会計監査
その他（突然、学校やＰＴＡからお願いしたいことを引き受ける）

どの活動にも、積極的に応募していただきました。お一人でいくつもの活動に登録された方も多数いらっしゃいました。

既に、「ＰＴＡだより・ガラス拭き・タブレット端末管理・吹奏楽部楽器指導・図書ボランティア・わかたけ記録会役員」が行われました。

子ども達の学習環境をよくするために一生懸命ご協力いただいている姿を見て、本当に有難いと感じております。ありがとうございます。

今年度の校内研修

〈研究主題〉「思いをもち、主体的に学ぶ子の育成～学びの土台となる読解力に着目して～」

昨年度の授業研究を通して、課題提示の仕方を工夫したり、課題解決の見通しをもたせたりすることで、主体的に対話する児童の姿が増えてきました。一方、課題を把握する時に文章や図・表などの読み取りに時間がかかること、読み取りが不十分であることが課題です。

そこで今年度は全教科・教育活動における課題を読み取り解釈する力（＝読解力）に着目し、児童１人１人の学びの質の向上、より深い協働的な学びの実現を目指し、校内研修に取り組みます。

１　読解６分野を意識した授業づくり

読解力育成で妙高市が参考にしているのが国立情報学研究所による読解力６分野（係り受け、照応、同義文、推論、イメージ同定、具体例同定）です。下に挙げたように新井中学校区でも読解力育成を重点に置いています。これらを受け新井小では今年度、全教科・教育活動を対象とし、学びの土台となる読解力とはどのようなものかを考えていきます。教師が読解力６分野を意識して教材開発したり、読解の手立てを工夫したりし、児童の思考の高まりにつながる指導の在り方を明らかにしていきます。

身に付けさせたい資質・能力「主体的に考え、表現しながら、深い学びに向かう力」

（新井中学校区の 2021 年度共通取組プラン）※「読解力の育成」に重点を置く。

【小学校低学年】

・大事なことを落とさないで聞いたり読んだりして、自分の考えをもとうとする。

【小学校中学年】

・共通点や相違点を考えながら聞いたり読んだりして、自分の考えをまとめようとする。

【小学校高学年・中学校１年】

・意図をとらえながら聞いたり読んだりして、自分の考えを深めようとする。

２　読解力につながる基礎的な知識・技能の定着

読解力の育成のためには、基礎的な知識・技能の定着が欠かせません。新井小では読解力につながる基礎的な知識・技能を次のように捉えました。読解力につながる基礎的な知識・技能の定着を図るため、音読や意味調べ等を毎日の授業の中で継続的に取り組んでいきます。

授業の流れ（イメージ）

課題提示場面 → 自分の考えをもつ場面（読解力） → 対話する場面 → 振り返る場面

↑

読解力につながる基礎的な知識・技能

・漢字力　・語彙力　・辞典・辞書活用能力　・構文力

・音読力・グラフ、地図、写真の読み取りスキル　等